

皆様、日々のお務めお疲れ様でございます。社内向け情報誌、第18号です。



全社員安全研修会

恒例となりました研修会を、今年も11月に開催いたします。現時点では20日の日曜日に開催の予定です。コロナ感染数も地域によっては増加を繰り返したりもありますので、医療警報などの発令により、予定が変更となる可能性もあります。また改めて案内いたします。

皆さんも引き続き手洗い消毒マスク着用を気付けて、健康に過ごしましょう。



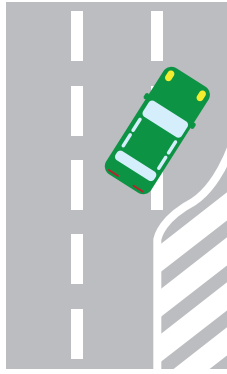
【交通安全クイズ】



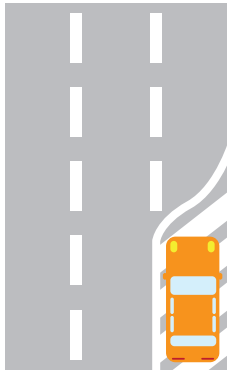
今回は、えっ!? そうだったの!? というルールについてです。右折するときの「ゼブラゾーン」と呼ばれる「導流帯」での意外な注意点は？

問題…どっちが正しい？

A ゼブラゾーンが終わったところで車線変更



B ゼブラゾーンが始まったところから車線変更



答え… B

これ、かなりの割合でAが正解だと思っている人が多いそうです。バス停前などのゼブラゾーンが停車禁止というイメージが強いため、走行禁止と誤ってしまっているよう

「白枠の導流帯であるゼブラゾーンは、枠内に侵入して通行してもOK」です。消防署や警察署などの緊急車両が出入りする区画なども、通行はOKですが赤信号時などでの停車は禁止ですよ。同じ理屈でこの右折レーンへ導流させるゼブラゾーンは、直進車が間違つて右折レーンに入ってしまうことを防ぐために設けられたものですので、そのまま侵入OKなのです。

しかし！要注意！



ゼブラゾーン上を直進する場合、このゼブラゾーンの終わりから車線変更して右折車線に入ってくる車に注意することが重要です。先述の通り、上記**A**が正しいと思つている場合が多いので、万が一事故になった場合、ゼブラゾーンを走ってきた側に否があるような話になりがちです。

万が一の過失割合は？

ゼブラゾーンが無い場合、直進車と車線変更車の過失の割合は3・7。しかしゼブラゾーンがある場合、直進車には過失が上乗せされて5・5になる場合があります。本来の交通ルールではないのですが、きちんと守るうとしていた、とされる、なんともややこしい話です。要するに、ゼブラゾーンは「要注意」です。

今月の 新シリーズ 娯楽で感じるSDGs



今月も、SDGsを楽しみながら感じてみよう、のコーナーです。今回も先月に引き続き漫画から、「うちのちいさな女中さん」です。



現在3巻が9月に出たばかり。無料漫画サイトでも読めます。

女中というのは、かつての日本女性の多くが従事した職業で、そこまで裕福な家庭でなくても雇っていたくらい、ごく普通な光景。そんな女中さん達が活躍した昭和初期、14歳の主人公が、一人暮らしの女性翻訳家の女中として働く日々を描いた物語です。

掃除、洗濯、炊事、裁縫、様々な日常がSDGs。働く働いてもらうという主従関係も、働く楽しさと働いてもらう喜びとで、お互い明日も楽しみ、という好循環な毎日。読んでてホンワカします。秋の夜長に、いかがですか？

先日、横断歩道のないところを渡つて車にはねられたタレントさんが、その翌日に亡くなるというニュースがありました。その日、宮崎市でもまったく同じように、横断歩道のないところを渡つた高齢者の女性が車にはねられて亡くなっています。

もらい事故は、こちらがどれだけ気を付けていても発生するもの。プロドライバーとして、こちらが交通違反さえしなければ、面倒な事態にはなりません。それでは来月も、皆さんご安全に頑張りましょう！

「れまでもアリがとう」



今年もあと二か月となり、本社にあるイチヨウの木も、色が変化してきました。もともとあったゴルフのショートコースの名残です。今年もたくさんの実（銀杏）をつけていました。

朝晩の冷え込みが強くなる日が増えてきました。体調には十分に気を付けて、良い一年の締めくくりができるよう、一日一日を充実させていきましょう。

【11月のお誕生日】

- 5 (土) ○○○○さん
- 6 (日) ○○○○さん
- 12 (土) ○○○○さん
- 16 (水) ○○○○さん
- 21 (月) ○○○○さん
- 22 (火) ○○○○さん
- 23 (水) ○○○○さん
- 28 (月) ○○○○さん

